

科目名	暮らしと経済		学年	類型・コース	単位数
			2年	総合選択 C2・普通	2単位
学習の目標	・経済の基本的原理について理解する。 ・暮らしに関わる経済の諸課題を考察し、主体的に解決しようとする態度を養う。				
教科書 副教材	主たる教材：自主教材 副教材：なし				
評価	評価法	定期考査、小テスト、提出物（振り返りシート、レポート、授業ノートなど）、ペアワークやグループワークでの取り組み、発表などを総合的に評価します。			
	評価観点の趣旨	a	知識・技能	経済の基本的原理について理解し、諸課題について諸資料から必要な情報を収集し読み取りまとめることができる。	
		b	思考・判断・表現	暮らしに関する経済の基本的原理や諸課題について多面的・多角的に考察し、自らの考えを論拠をもって表現することができる。	
		c	主体的に学習に取り組む態度	経済の諸課題に関する具体的な主題を自ら設定し、主題を追求したり解決したりする活動を主体的に行うことができる。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～10の10段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～5の5段階）にまとめます。				

期	月	時数	学習項目・単元	学習内容	評価方法		
					a	b	c
1学期	4月	6	経済のしくみ	暮らしと経済活動 経済活動の意義	定期考査、小テスト	定期考査、発表、振り返りシート、レポート	発表、授業ノート、振り返りシート、レポート
	5月	8	市場経済のしくみ	市場のしくみ 市場の失敗 需要・供給と価格			
	6月	8	企業の活動	現代の企業 株式のしくみ			
	7月	4	政府の経済的役割	財政の役割と租税			
夏休み							
2学期	9月	8	政府の経済的役割	金融の役割 金融商品のリスクとリターン	定期考査、小テスト	定期考査、振り返りシート、期末考査、レポート	発表、授業ノート、振り返りシート、レポート
	10月	8	消費者保護と契約	クレジットカードのしくみ 契約 消費者問題			
	11月	8	政府の経済的役割 国際経済	日本銀行の役割 外国為替市場のしくみ			
	12月	4	政府の経済的役割	経済成長と国民の福祉			
冬休み							
3学期	1月	6	政府の経済的役割	社会保障の役割と課題	定期考査小テスト	学年末考査、発表、振り返りシート、レポート	発表、授業ノート、振り返りシート、レポート
	2月	6	雇用と労働問題	労働問題と労働者の権利			
	3月	4	産業構造の変化	農業と食糧問題			

担当者からのメッセージ（学習方法など）
ノートやプリントの復習を大切にしましょう。提出物は締切をしっかりと守って丁寧に仕上げましょう。